

テーマ おとうさん

しょめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
ひやくにんのおとうさん	譚 小勇・天野 祐吉 / 文 譚 小勇 / 絵	福音館書店	Eホン/タ	わかいふうふが、つちのなかからかめを見つけました。ふしぎなかめで、なかにいれたものが100になるのです。うわさをきいたじぬしが、このかめをうばいます。そして、なかをのぞこうとひをかざすとひがおちてしまって、たいへんなことに。 ※かめとは、みずなどをいれるやきもののこと。
おとうさんもういっかい ゆうえんち	はた こうしろう / 作	福音館書店	Eホン/ハ	おとうさん、あそぼう！おとうさんのひろげたあしのあいだが、ゆうえんちのいりぐち。はじめはゆうらんヒコーキ。ねころがったおとうさんのあしのうえに、りょうてをひろげてのると、ぐーんとひこうきがとびたちます。つぎはおとうさんにつかまって、ぷるぷるタワー。おとうさんとあそびたくなるえほんだよ。
ぼくが父さんなら	シャーロット・ゾロトウ / 文 ヒラリー・ナイト / 絵 みらい なな / 訳	童話屋	SIホン	ぼくが父(とう)さんなら、ピアノのレッスンもなし。ちゅうしゃもなし。かみがボサボサだっていいじゃないか。あつくてねむれない夜(よる)は外(そと)でねるのもいいよね。もっとこどものいうことをきいてやるぞ。みんなはじぶんがお父(とう)さんならどんなことをしてあげるかな。
とうさんはタツノオトシゴ	エリック・カール / さく さの ようこ / やく	偕成社	Eホン/カ	うみのなかで、タツノオトシゴのかあさんは、とうさんのおなかのポケットにそっとたまごをうみおとしました。とうさんはたまごをしっかりとまもりながらおよいでいきます。おや、あかちゃんがうまれるときがきました。とうさんがしっかり子(こ)育(そだ)てをする、おはなしです。
ピッツアぼうや	ウィリアム・スタイグ / 作 木坂 涼 / 訳	セーラー出版	Eホン/ス	ピートはご機嫌(きげん)ななめ。友(とも)だちと外(そと)であそぼうと思(おも)ってたのに雨(あめ)がふってきたのです。それを見(み)たおとうさんはピートをピッツアの生地(きじ)にみたてて、ピッツアづくりをはじめました。テーブルにのせて、こねたりひっぱったりのばしたり。ピートはピッツアになっちゃうの？
トーラとパパの夏休み	リーサ・モローニ / 文 エヴァ・エリクソン / 絵 菱木 晃子 / 訳	あすなろ書房	Eホン/E	楽(たの)しみにしていた夏休(なつやす)み。トーラはパパと森(もり)でキャンプをするためにスーパーで買(か)い物(もの)をし、何時間(なんじかん)も車(くるま)に乗(の)りました。やっと森(もり)に到(とう)着(ちゃく)です。トーラは色(いろ)んな動物(どうぶつ)を見(み)つけたようですよ。でも、どうやらパパにはただの木(き)の根(ね)っこや岩(いわ)にしか見(み)えないようです。